

本町独自の施策を
きめ細かく展開。



浅妻町長

(前略)平成三年度国家予算をみるに、湾岸の影響はあるとしながらも、現在の景気は急には、低滞しないとみているところでありま。 (中略) 国は好景気に支えられて税の増収を見込んでおり、地方への国庫負担率を少しだけ元にもどして、昭和六十一年ベースにしたところでありますが、三ヶ年は改正しないと言っていることですので、依然として地方財政は厳しい運営になると思われま。 (中略) 本町におきましても、前年度末、町債残高が四十億八千万円を超え

る等、厳しい財政状況下におかれております。しかし、私は、町民のニーズに的確に対応する為、基本的には投資的事業の確保、国、県事業の積極的導入を図るなど、国、県との連携を保ちつつ町政を進めてゆく所存であります。国庫補助金等の削減が続いている現状ではありますが、本町の新年度予算編成といたしましては、国同様極力経常経費の節減、抑制に努めるとともに、二万三千五百人の町民

の要望を充分ふまえ、固有の財源の確保を図りながら、本町のおかれた立場や、条件などを十分に反映すべく本町独自の施策を行政全般に亘ってきめ細かく展開し、広範囲に推進することとした次第であります。

年間百二十万人の観光客をめざす、新潟ふるさと村のオープン、済生会病院の開業が、それぞれ七月に予定されております。北陸自動車道の延伸工事、信濃川、中の口川の河川改修工事、帝石橋の架け替え工事など、本町をとりまく状況は変貌をきたしております。これらの本町の現状をふまえて町政執行の基本姿勢といたしましては、基本的人権の尊重を基盤として「協調と融和」をモットーとして、町民との対話の町政を積極的にすすめる、町民すべからず住んで誇れる町、心豊かな隣人愛に充ちた緑と潤いのある「まち」づくりの実現に向かって、揮身の努力をいたす所存であります。

(中略)新年度予算編成にあたりましては、常に提唱いたしております、一、健康で心のふれあう福祉社会の実現 二、快適と安らぎを与える生活環境の整備と充実 三、活力に満ちた農工商業の振興と産業基盤の育成 四、教育、文化、スポーツの振興と施設の整備充実 を基本方針として、財源の重点的かつ効率的配分を行った次第であります。

議会3月定例会施政方針から

人件費13億8701万円

総務費 15億5405万2千円

- (-6982万9千円)
- 総務費は予算総額の29.2%を占めます。大半は人件費で13億8701万円。特別職等の報酬を数年ぶりに改定しました。町史編さん事業は資料の収集・分類整理を終わり、監修者と執筆者を委嘱して本格的に執筆作業に入り、町制20周年記念事業として平成5年に刊行します。交通安全では関係団体の育成強化と交通安全思想の啓蒙普及に努め、安全施設の整備充実を図ります。
- ・特別職(町長、助役、収入役)給料 2020万8千円
 - ・教育長給料 534万円
 - ・職員給料(212人分) 6億7315万9千円
 - ・職員手当等 4億1266万4千円
 - ・共済費 2億5997万2千円
 - ・町長交際費 339万9千円
 - ・町史編さん費 1692万5千円
 - ・広報などの印刷製本費 593万2千円
 - ・交通安全対策費 1516万5千円
 - ・自治会長委託料 904万5千円
 - ・徴税費 2884万8千円
 - ・戸籍住民基本台帳費 1823万6千円
 - ・選挙費 578万5千円
 - ・統計調査費 108万4千円
 - ・監査委員会費 158万円

健康の知識普及に
健康カレンダー

衛生費 3億8819万6千円

- (+2996万5千円)
- 各種予防接種の実施、健康展の開催をするほか、健康に関する正しい知識普及のため健康カレンダーを作成配布します。また、精神障害者医療費助成に関する条例を制定します。環境衛生では、一般廃棄物の処理に万全を期すとともに自治会で行う防疫用機械・薬剤の購入費の補助と家庭用生ゴミ処理器の購入費の助成を引続き行います。
- ・ごみ収集委託料 5158万円
 - ・新潟地区広域清掃事務組合負担金 1億7401万9千円
 - ・生ゴミ処理器導入助成金 100万円
 - ・精神障害者医療扶助費 396万円
 - ・高額療養費資金貸付基金繰出金400万円
 - ・国民健康保険特別会計繰出金 500万円
 - ・老人保健特別会計繰出金 9100万円
 - ・環境衛生費(防疫用薬剤購入費補助金206万円など) 710万8千円
 - ・母子衛生費 1240万円
 - ・予防費 2282万円
 - (各種検診委託料 1415万1千円)

保育料は据置き

民生費 3億954万9千円

- (-6億2429万5千円)
- デイサービスセンターの完成により、在宅の虚弱老人等にリハビリ、入浴、給食などのサービスを提供し、ねたきり防止や介護家族の負担軽減を図ります。ひとり暮らしのお年寄り世帯に対する緊急通報装置の貸与も行います。またひとり親家庭等の生活の安定と自立を図るため新たに医療費助成をします。児童福祉では大野保育所のテラスの改修など施設の改善に努めますが、保育料は据置き。
- ・デイサービスセンター事業委託料 1147万7千円
 - ・社会福祉協議会補助金 902万5千円
 - ・家庭奉仕員委託料 852万8千円
 - ・保険基盤安定繰出金 1185万2千円
 - ・老人福祉総務費 1349万円
 - 敬老会経費 315万9千円、シルバーホン経費63万4千円、老人クラブ補助金 198万8千円、老人ホーム負担金 299万6千円、ねたきり老人等介護手当 240万円など。
 - ・老人福祉センター管理費1695万4千円
 - ・国民年金事務費 2528万5千円
 - ・ひとり親家庭等医療扶助費 187万1千円
 - ・障害福祉費 884万1千円
 - ・児童福祉費 1億9077万1千円
 - 児童措置費5992万7千円、児童手当3240万円、保育所改修工事費 650万円、黒鳥保育園委託措置費2771万5千円など。

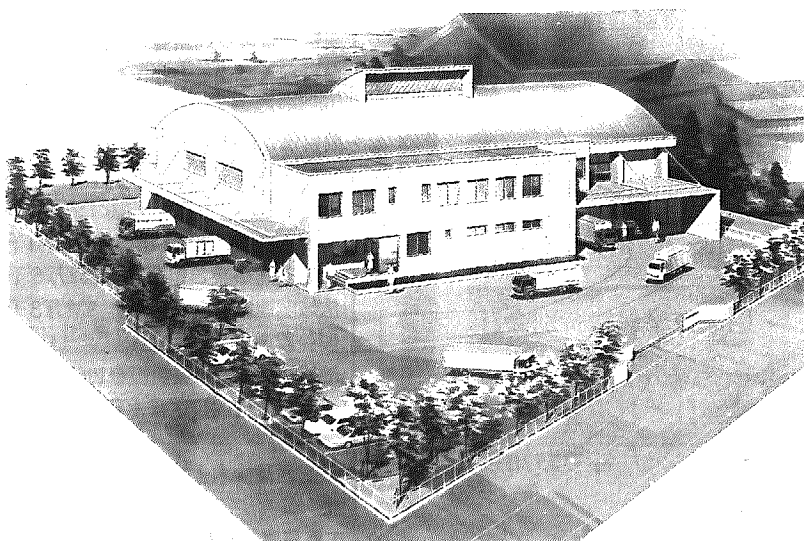
学校給食センター建設に
6億7603万円

教育費 9億5655万9千円

(+5億9761万2千円)

学校教育では、長年の懸案であった学校給食センターを建設します。4000食でも可能なドライ方式の施設として計画しています。さらに立仏小学校のプールサイド補修、黒鳥小学校プール修理などの施設整備を図ります。社会教育では各種講座や学習の機会を広め、一人でも多くの町民が参加できるよう事業の充実を図っていきます。町民の体育向上の面から各種体育事業も実施するほか、総合体育館の屋根を補修します。文化活動の促進のためには、各文化団体の育成、美術展や学級・講座受講生

- の作品展の開催、図書館の図書の増冊、さらにふるさと創生の人材育成事業として文化講演会を引き続き実施します。
- ・教育委員会費 1681万2千円
 - ・小学校費 8435万5千円
 - ・中学校費 3439万5千円
 - ・公民館費 1682万7千円
 - ・文化財保護費 377万8千円
 - ・青少年問題対策費 489万3千円
 - ・図書館費 986万3千円
 - (図書購入費 310万円)
 - ・緒立遺跡発掘調査費 788万4千円
 - ・社会体育費 5827万9千円
 - ・学校給食費 2663万5千円
 - ・学校給食センター建設費 6億7603万4千円



給食センター完成予想図

商工費 1億3980万2千円

(+285万6千円)

商工業者の経営資金対策として産業育成資金と町独自の商工業近代化資金の貸付を引続き行います。大野の商店街を育成するため、商店街共同駐車場の借上料と街路灯の占用料などに引続き助成をします。指導機関の商工会の健全化と活動の活発化のため補助金増額と各種講演会・研修会を共催事業として行います。観光では「新潟ふるさと村」とBe-inくろさきが7月にオープンするので、町の観光土産品としての特産品づくりを推進します。黒埼まつりは、町村合併90周年にあたりまつり実行委員会が盛大にやる計画があるので、それに助成します。

- ・産業育成資金貸付金 6100万円
- ・商工業近代化資金貸付金 3000万円
- ・持家住宅建設資金貸付金 679万円
- ・黒埼町商工会補助金 850万円
- ・黒埼まつり補助金 300万円

消防費 4707万5千円

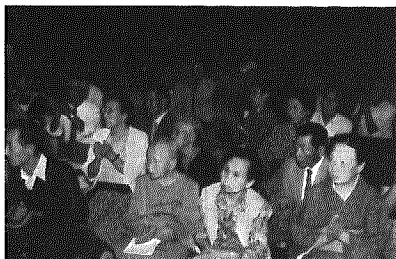
(+264万8千円)

防火水利の確保、小型ポンプなどの整備を計画的に実施し、緒立地域の防火水槽を補修します。また予防査察・危険物関係施設などへの立入検査を積極的に実施して災害の未然防止に努めます。

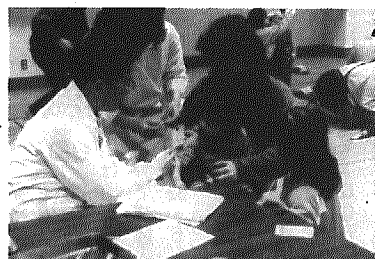
- ・消防団員報酬(255人分) 494万7千円
- ・消防施設費(消火栓設置など) 882万8千円



消防出初式



敬老会



三種混合予防接種